

公明党 横浜市会ニュース 第57号

民衆の声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com



2012

# 安心と活力ある横浜を!

**横浜経済の活性化**

- 若者雇用支援策の充実
- 中小企業の経営支援策の充実

**健康社会の構築**

- 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種を継続
- アレルギー対策の充実
- 高齢者・障がい者の孤立化の防止

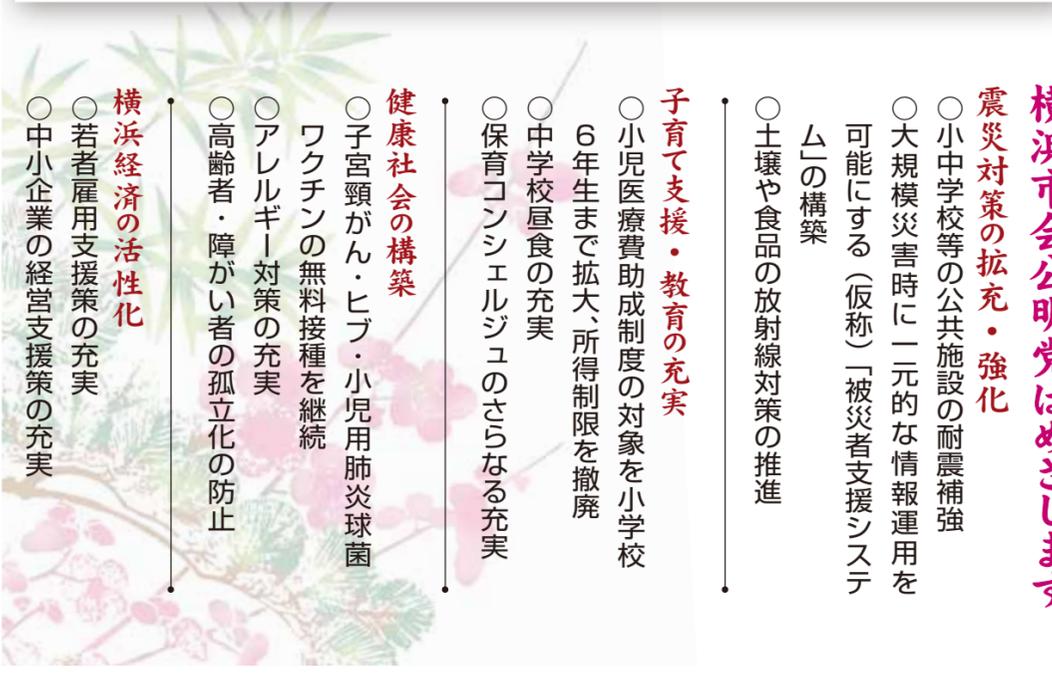
**子育て支援・教育の充実**

- 小児医療費助成制度の対象を小学校6年生まで拡大、所得制限を撤廃
- 中学校昼食の充実
- 保育コンシェルジュのさらなる充実

**震災対策の拡充・強化**

- 小中学校等の公共施設の耐震補強
- 大規模災害時に二元的な情報運用を可能にする(仮称)「被災者支援システム」の構築
- 土壌や食品の放射線対策の推進

横浜市会公明党はめざします



## 望月やすひろ通信 市政報告 Vol.10



### 平成23年第4回定例会の論戦から

ながら対応するとし、加えて、文字によって迅速に情報伝達できるエリアメールなども活用し、より多くの方々がいち早く避難できるよう対応していくと答えました。

#### 【HUGへの取り組み】

防災対策においては、地域防災力の向上をめざし、避難所の効果的な運営を可能にする、避難所運営ゲーム(通称HUG:ハグ)などを訓練に取り入れるべきと要望しました。

市長からは、拠点において起こる課題を解決するための訓練として非常に有効で、今後HUG導入を奨励していく旨の答弁がありました。

#### 【不育症への支援】

患者の方々への精神的支援策について質問しました。

市長からは、各区の福祉保健センターの職員に対して研修等を行い対応力を高めるとともに、医師による相談体制についても関係医療機関と調整をしていく旨の回答がありました。

#### 【市庁舎LED化の推進】

照明のLED化が進んだ段階で、その効果を市民にわかりやすく公表すべきと主張しました。

#### 【中学校昼食の充実】

食育や男女共同参画の観点から質問しました。

教育長は、実態を把握するため、23年度中にアンケートを実施すると答弁しました。



中学校昼食の充実へアンケート調査を実施。

今年も元気に  
街頭から  
スタートしました!



【マイクロソフトの放射線量測定事業】  
放射線量測定事業のねらいについて質問しました。  
市長は、今回の補正により各土木事務所3台の測定機器配備の目的が立ったため、すべての公園と、子どもが多く利用する施設の周辺道路等を計画的に測定していくことにより、安全を確認し、市民に安心していただくことがねらいであると答弁しました。

【津波警報システム整備】  
耳の不自由な方や外国人にも配慮したシステムにすべきと提案しました。  
市長は、ライトにより視覚に訴えたり、世界共通の言語になった「ツナミ」を強調した放送内容を取り入れるなど工夫し



沿岸部約7,700箇所に設置、公明党の提案で多言語表示が実現。

**横浜市コールセンター** Tel.045-664-2525  
～便利な暮らしの情報ガイド～ Fax.045-664-2828  
●時間/8:00～21:00(土・日・祝日を含む毎日) ●Eメール/callcenter@city.yokohama.jp

新春企画

皆さまの暮らしをサポート!

公明党 政策がわかる

う ちの耐震、大丈夫?

地震防災の第一歩は「わが家」の耐震性強化です。

- ◎住宅の無料耐震診断  
(昭和56年5月以前竣工のもの)
- ◎耐震補強工事補助金の増額  
(平成26年3月末までの時限)
- ◎家屋の一部を補強する耐震シールドや防災ベッドの助成金  
問い合わせは、  
〔建築局建築企画課〕  
電話：671・2943



防災ベッド

ダ イエット、無理なく皆で健康社会

「健康長寿社会」「幸福社会」の原点は一人ひとりに適した体重管理から始まります。

- ◎家庭・地域・事業者・行政で取り組む「食育」
- ◎女性特有のがん・大腸がんの無料検診クーポンでがん予防
- ◎子どもから高齢者まで気軽にスポーツに親しむための、地域の環境整備を推進



う きょうきと、皆が集まる街づくり

多様な観光資源にあふれる横浜の魅力を外に発信し、地域の活性化をめざします。

- ◎アフリカ開発会議など大型国際会議、観光客、企業の誘致
- ◎歩いて暮らせるコンパクトな街づくりと商店街の活性化
- ◎活発な市民活動を展開できる各区の区民利用施設の充実



第4回 アフリカ開発会議の様

リ ードし守る、若者雇用と中小企業

厳しい経済環境下では、雇用の確保と地域経済の活性化が何よりも求められています。

- ◎若者等の就職活動を支援する「ジョブマッチングよこはま」申し込み先  
フリーダイヤル：0120・945・451
- ◎「横浜市中小企業振興基本条例」の適切な運用  
(財)横浜市中小企業支援センター  
電話：225・3700



エ コ社会、一人ひとりが立役者

持続可能な社会への転換のため、毎日の暮らしの中で「エコ」を続けることが大切です。

- ◎G30(7割削減)からエコハマ3R夢(スリム) (発生抑制、再利用、資源化)へ、循環型社会のバージョンアップを推進
- ◎電気を無駄なく使う暮らし方(ホームエネルギーマネジメントシステム HEMS)の導入等に助成
- ◎産業分野でのクリーンエネルギーへの転換



少 子社会。子育て支援で明るい未来

公明党の取り組みで、待機児童の減少や多様な育児支援制度の充実など、成果が現れてきました。

- ◎不妊症治療への助成と、不育症への支援 (イイナリス)
- ◎小児救急電話相談(20111174) (イイオサン)
- ◎産科あんしん電話(20111199)
- ◎救急医療情報センター(20111199)
- ◎救急医療情報・相談ダイヤル(7499) ちびきましました。



横浜市をダブル選定!

国家プロジェクトとして全国の自治体から募集していた「環境未来都市」及び「国際戦略総合特区」に、公明党が推進してきた横浜市の2つの提案が選定されました。



理化学研究所横浜研究所(鶴見区)

京浜臨海部ライフインベーション国際戦略総合特区

がん・生活習慣病などの予防のための革新的医薬品や医療機器の開発に取組み、国の特区制度を活用しながら、横浜経済の活性化につなげていきます。



環境未来都市

環境問題や高齢化社会などに、対応する先進的なモデルとなる都市として、低炭素なまちづくりの実現に取り組みます。